かかりつけ医を持ちましょう！

大村市医師会　副会長　朝長昭光

皆さんは〝かかりつけ医〟を持っていますか？〝かかりつけ医〟とは何をするのかご存じですか？

〝かかりつけ医〟は交通整理のお巡りさん（今はあまり見ませんが交通信号の代わりに笛を吹きながら車を誘導してくれますよね）みたいなものです。皆さん、「具合が悪いけどどこにかかったらいいの？眼科？耳鼻科？脳外科？」と悩む時ありませんか？こういう時に〝かかりつけ医〟に相談してみて下さい。「これは耳鼻科に行った方がいいよ」とか、「脳外科に行った方がいいよ」「市立病院に行って検査を受けた方が良いよ」などとアドバイスをしてくれます。更に、紹介状も書いてくれますよ。紹介を受けた先生から〝かかりつけ医〟に返事が来ます。だから、更に良いことには、病院などで説明が理解できなかった時に「何て書いてあっとですか？説明のわからんやったとけどどげんやったとですか？」と尋ねることが出来ます。必ず、〝かかりつけ医〟は丁寧に教えてくれるはずですよ。

古来より不老長寿は人間の夢。「お前百までわしゃ九十九まで」が夫婦の長寿の理想。しかし、「楽をして健康になれる法は無し」というように日常から健康に関心を持つことが大切ですね。

大村市では、私たち開業医で『総合健診』という健康診断を年に1回受けることが出来ます。大村市に住んでいる40歳以上の方は、皆さん受けることが出来るし、市が補助してくれますので、費用も安くてすみます（市報をご覧下さい）。しかも人間ドック並みの一通りの検査が出来ますので、「総合健診を受けに来ました」と〝かかりつけ医〟に気楽に申し込んでみて下さい。すぐに検査をして、結果が出たら懇切丁寧に説明してくれますよ。きっと安心出来ると思います。

メタボリックシンドロームって皆さんご存じですか？今まで生活習慣病として知られる高血圧、糖尿病、高脂血症などでそうひどくないから心配ないとされていた人が多くいます。しかし、その中で個々のリスクは軽くてもそれらを重複して持っている人はとても危険だということが分かってきたのです。日本でも生活習慣病になる前のメタボリックシンドロームが増えてきたために、日本の実情に合う診断基準が作られました。その中に内臓脂肪の蓄積が一番の問題として捉えられてきています。過食と運動不足、皆さん、「解っているけど!!」の返事はするけど…。これからは健康診断の結果を踏まえて〝かかりつけ医〟が取り組んでいく大きなテーマなんです。（と書いている本人自身、取り組むべき問題と解っているのですが…）

世界の最長寿国となった日本。大村市でも人口9万人に対し65歳以上の高齢者の方は1万6千人、高齢化率18％になっています。介護保険というシステムがあるのは皆さん、もうご存じですよね。介護保険を利用するためには、市からの調査を受けることと主治医意見書を提出する必要があります。主治医意見書は誰に頼めば良いのでしょう？それは〝かかりつけ医〟に頼むのです。皆さんのことをよく知っている〝かかりつけ医〟だからこそ、皆さんの情報を詳しく書いてくれるのです。その情報が少ないために審査に支障をきたすことはよくあります。いつも診てくれている〝かかりつけ医〟なら安心ですよね。

質の高い人生を送るためには、健康であることが必要不可欠の条件となります。その健康を維持するためには、日常の努力の継続が必要となります。〝かかりつけ医〟と一緒に手を取り合って努力してみませんか!!

チーム大村～病医院の役割～

大村市医師会　理事　牟田幹久

「名医」と言えば、「赤ひげ」「ブラックジャック」そして今なら「Drコトー」でしょうか。彼らが名医と言われるゆえんは、どんな病気でも治すことができるからです。しかし、病気が多様化し、診断、治療がより専門的になった今日、一人の医者が総ての病気を治すのは不可能に近いものがあります。では、「名医」に羅ることは出来ないのでしょうか？

現代の医療は個人の実力だけではなく、チームとしての総合力で病気を治します。ホームランバッターばかり集めた野球チームが勝つとは限りません。チームにはそれぞれ持ち場、役割があり、脇を固める選手の協力があってはじめて勝つことが出来ます。大村市における医療では、医療センターや市立病院がエースで4番バッターであり、そして、診療所がその前後を打ち、守る1番バッター、2番バッターの役割をはたします。この役割分担を、1次医療・2次医療・3次医療、そのつながりを病診・診診連携と言います。これが上手く稼動した時に、名医、「チーム・赤ひげ」「チーム・ブラックジャック」「チーム・Drコトー」になることが出来るのです。

私達大村市医師会は、個々がエースで4番を打てる実力をつけるように日々努力もしております。さらに病診連携、診診連携が密に行われ、皆さんが「チーム・大村」という名医に守られ、この地で安心して暮らしていけるよう役割をはたして行きたいと思っています。

編集後記

医師会だよりも5回目の発行となりました。今回は医師会職員が描いた手作りのイラストを使い、趣向をこらしてみました。皆様どのようにお読みいただいたでしょうか？

医師会だよりについての感想や、医療・健康に関して聞いてみたい話題など、医師会事務局へお寄せ下さい。より望まれる情報が提供できるよう、考えてまいります。

お知らせ

大村市医師会 第10回 市民公開講座

演題　「生と死を見つめて」

講師　禅心寺　金子真介　師

参加費 無料

日時　平成18年12月6日(水)［19:00～］

場所　長崎インターナショナルホテル

TEL0957-52-1111　※手話通訳もあります。

◆講師　金子真介　師
・昭和21年10月8日生まれ・佐賀県出身・駒澤大学文学部・仏教学部卒
・昭和61年…大村に禅心寺建立
・平成元年…生と死を見つめるセミナー設立

お知らせ

大村看護高等専修学校 平成19年度 募集要項

大村看護高等専修学校は准看護師に必要な知識および技術を習得させ、
准看護師にふさわしい、豊かな人間性の育成を目的として養成しています。

●募集人員　40名
●修業年限　2ヵ年

試験科目
1.学科／国語…50分・数学…50分・作文…50分
2.面接
3.適性能力試験（簡単な作業）
4.書類審査

前期入学試験　◆受験資格　学校教育法第47条の規定により高等学校入学資格を有する者。
◆試験日……平成19年1月13日（土）
◆出願期間…平成18年12月13日（水）～平成19年1月10日（水）（必着）
◆合格発表…平成19年1月17日（水）10時

後期入学試験　◆受験資格　学校教育法第47条の規定により高等学校入学資格を有する者。
◆試験日……平成19年2月10日（土）
◆出願期間…平成19年1月24日（水）～平成19年2月7日（水）（必着）
◆合格発表…平成19年2月16日（金）10時

〈お問合せ先〉大村看護高等専修学校　TEL52-6712